

令和6年度 幼保小連携推進事業活動報告

9

【令和6年度 推進テーマ】
幼児教育と小学校教育の学びをつなごう
～顔の見える関係をつくる～

上寺尾小学校・やよいヶ丘幼稚園・横浜市馬場保育園

推進テーマ設定の理由

- ・今までの交流や活動を通して、幼児教育・小学校教育においてそれぞれの職員が大切にしていることをより理解し合ったり、より深いところまで語り合ったりして、それを子どもの育ちや学びに生かしていきたいから。
- ・定期的な交流を企画することで、子どもどうしがお互いの顔を覚え、安心感や充実感をもって活動してほしいから。

令和6年度 推進事業活動経過

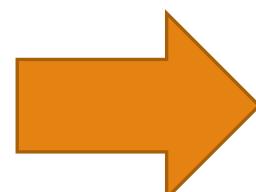
活動月	事業内容
5月	○幼保小連携推進地区事業打合わせ
6月	○まちたんけんで来校
6、7月	○1年生 なかよし交流会（やよいヶ丘幼稚園・馬場保育園） 教室や体育館で、レク、歌、手遊びなどをして遊ぶ
8月	○単元構想図作成
10月	○Fブロック幼保小交流座談会
12月	○1年生 秋をたのしもう（やよいヶ丘幼稚園・馬場保育園） どんぐりや松ぼっくりを使った秋のお店屋さんに招待した 「どんぐりごま」や「松ぼっくりけんだま」などで楽しんでもらった
2月（予定）	○1年生 4月にまってるよ 学校探検や学校紹介、机、いす、ランドセル体験など、小学校の見通しがもてるようにした

今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

年長児と1年生の交流をたくさんすること
～活動するときに、常に相手意識をもって取り組もう～



みんなで
あそびたいな！！



幼稚園や保育園の子たちは、
どんなことをしたら
楽しいと思うかな？？



○○さん、こっちだよ！



小学校のこと、
もっと知ってほしいな

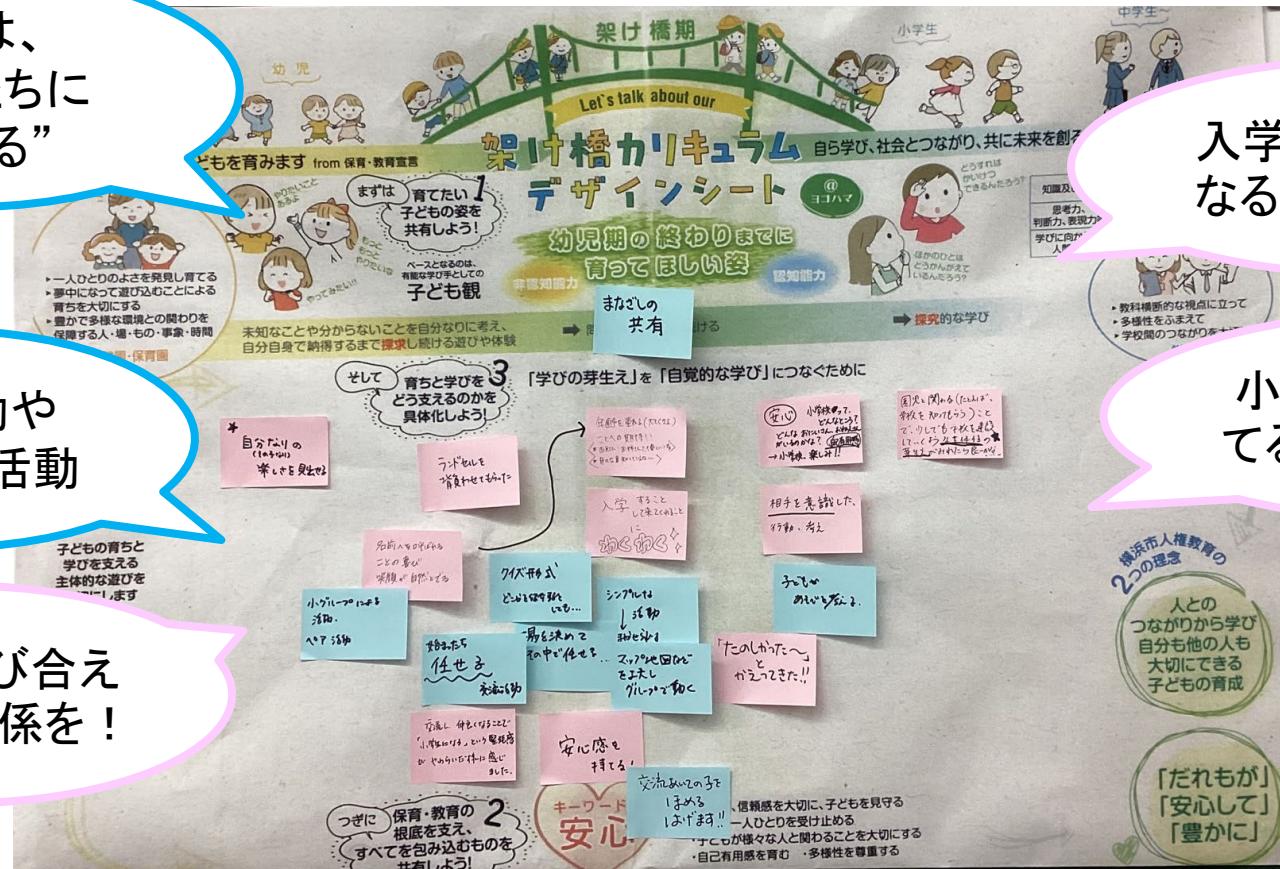


幼保小推進担当者 打ち合わせ

活動は、
子どもたちに
“任せる”

ペア活動や
グループ活動

名前を呼び合える
ような関係を！



入学がわくわく！に
なるような活動を！

小学校への安心感をも
てるような活動がいいな。

なかよし交流会

6月、7月

はじめての
顔合わせを
しました。



でんしゃごっこ、
シュツ シュツ
シュ！



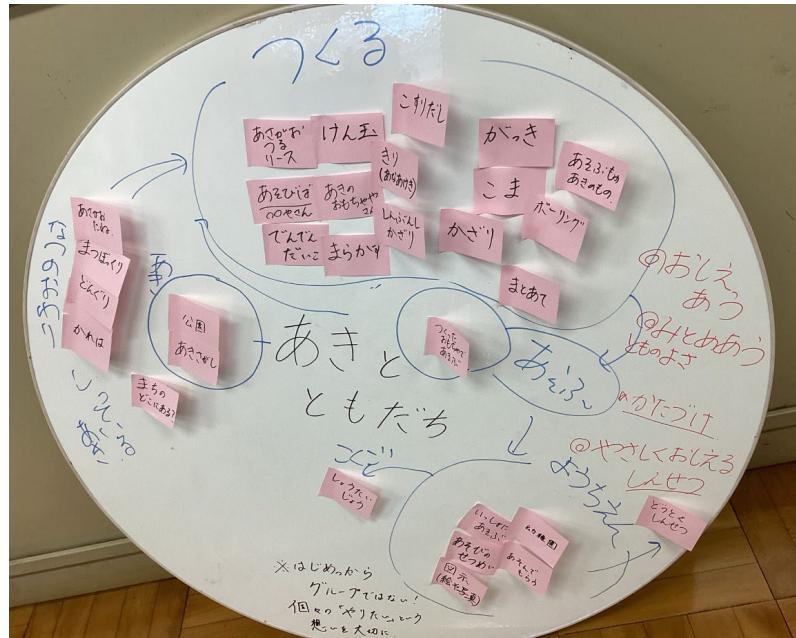
なべなべそこぬけ♪



生活・総合 単元構想図作成

生活・総合の単元について、どんな目標をもってどんな活動にしたいのか話し合い、まとめました。1年生と5年生は幼保小の活動を中心に構想図を作成しました。

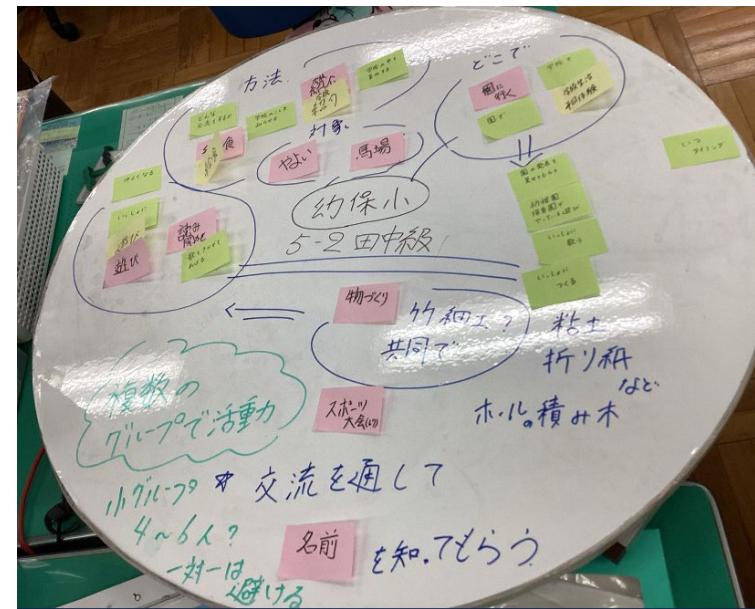
丸いホワイトボードを
囲んで、学年ごとに
活発に意見交流！



1年生

あきとともにだち

個々の「やりたい」を大切にするためには…?

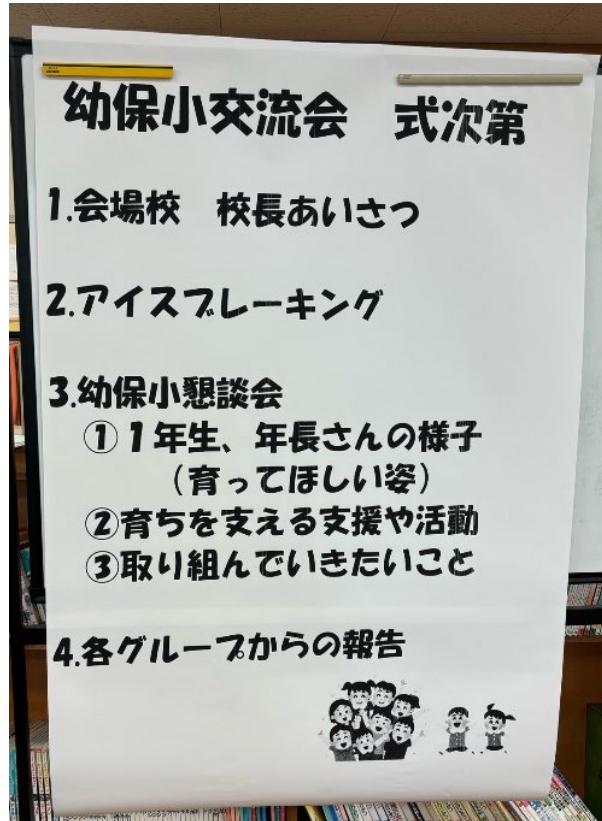


5年生

来年度たてわりペアになる、やよいヶ丘幼稚園・馬場保育園の子との交流

名前を呼び合える関係 になるには…?

Fブロック 幼保小交流座談会



各グループで、育ってほしい姿を共有しながら 架け橋カリキュラムデザインシートにまとめました。



秋をたのしもう(1) 12月

1年生の生活科「あきとともにだち」の学習で作ったものを使って、一緒に遊びました。幼稚園や保育園の年長児も楽しみにしてくれていたようです。1年生にとっても楽しい1日となりました。



まつぼっくり
のけんだま、
できたよ。

どんぐりで
アクセサ
リーを作っ
たよ。



秋をたのしもう(2)

どんぐりでいろいろな人形を作ったよ。かわいいね。

かわいいね。

どんぐりゴマは、こうやってまわすといいよ。

よく回るね。だれがいちばんまわるかきょうそうしよう。



4月にまつてるよ 2月予定

最後は、1年生の生活科「もうすぐみんな2年生」の学習で、もうすぐ1年生になる年長さんを招いて交流する計画を立てます。

自分が入学する前や入学した時のことを思い出しながら、何をしてあげたらいいか、どんな交流会にしたいかをクラスで話し合って考えていきます。

きっと、素敵な交流会になると思います。

令和6年度の取組の成果・課題

【成果】

- 継続的な交流をすることができた。
- 生活の単元を幼保の活動に繋げることができた。
 - ・「あきとともにだち」→「秋のお店屋さんに、幼稚園・保育園の子たちを招待しよう」など
- 相手意識をもって活動する児童の増加。
 - ・活動を続けるにつれ、「幼稚園・保育園の子たちはどう思うかな?」「もっと楽しいと思ってもらえるには、どんな工夫が必要だろう?」など、自発的に考える子が増えてきた。

令和6年度の取組の成果・課題

【課題】

○交流日の日程調整の難しさ

- ・交流する園が増えるほど困難になる状況があった。来年度は活動計画をもとにして、年度初めのうちに各園と調整できるようにする。

○幼保小連携教育への理解を深める

- ・1年担任だけでなく、より多くの職員が関わることができる機会を設けたり、活動を共有する場を設ける。